

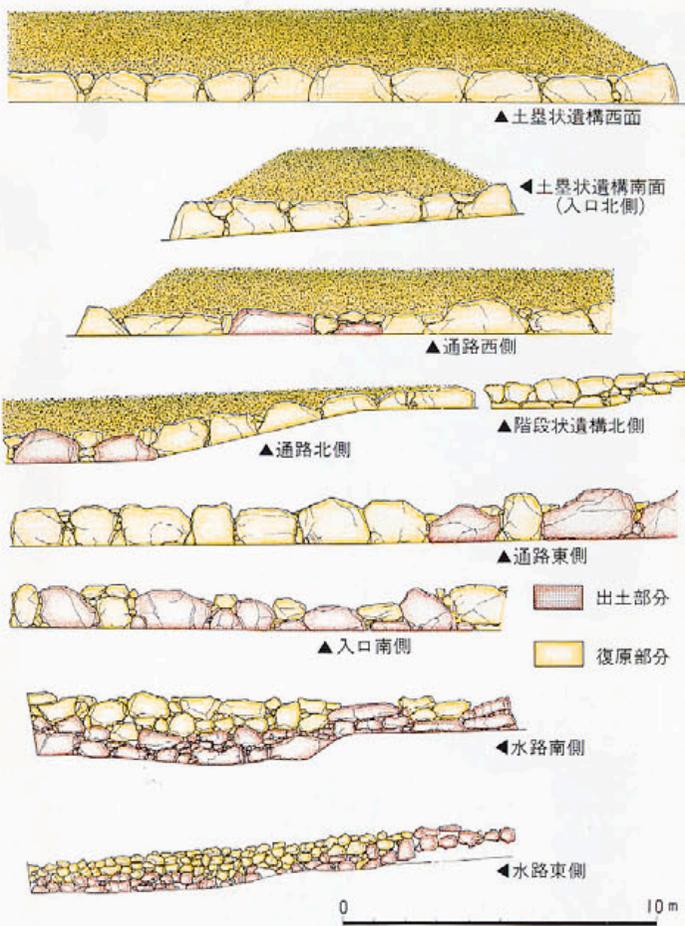
Nobunaga Oda Palace Ruins

Nobunaga Oda, one of the most famous and important generals in Japanese history, contributed to the unification of Japan at the end of the Sengoku Era. In 1567, he banished the lord of the Gifu area, and built Gifu Castle on the top of Mt. Kinka. His palace of residence was said to be here, at the western foot of the mountain. According to a Portuguese missionary of the time it was a magnificent 4 story building.

An archeological survey of this location which began in 1984, has uncovered the remains of a stone enclosed passage (an unusual construction for that period), battlements of stones and soil, a stone stairway, and a waterway. These are thought to have been made in Nobunaga's time. But we haven't yet discovered any remains of the building itself.

市指定史跡岐阜城跡・千畳敷

織田信長居館跡



▲冠木門 (かぶきもん)



岐 阜 市
岐阜市教育委員会

遺跡のあらまし

永禄10年(1567)織田信長は、稲葉山城主・斎藤龍興を追放し、「岐阜」の名を採用、金華山山頂に岐阜城を修築して天下統一への拠点としました。金華山の西麓には人工的な2～3段の棚状の地形があって、最上段を千畳敷、中段以下の大部分を千畳敷下といいます。ポルトガルの宣教師ルイス・フロイスがその著書の中で壮麗なものとして紹介した信長の居館の跡といわれています。

昭和59年から行われた発掘調査で、両側に板状の巨石を立て並べ、千畳敷下から千畳敷へと折れ曲がりながら上っていく通路をはじめとして、その途中や周囲に配置された土塁状遺構・石垣・階段状遺構・水路などが発見されました。岐阜城は、信長が近江の安土へ移った後、慶長5年(1600)関ヶ原合戦の前哨戦で落城するまで続きますが、これらの遺構の多くは、その出土品などから信長時代にその基本的な形ができたと考えられます。

発掘調査では、これらの遺構の下にさらに古い時代の遺構群があることが確認されています。石垣・石積施設・階段状遺構などで、これらを埋めて作られた通路など上層の遺構が信長によるものとするれば、稲葉山城に係る斎藤氏時代の可能性が高いといわれています。また数枚の整地した土層が上下に重なっていることが確認されていますが、この中にはいくつかの焼土の面が含まれており、施設の焼亡をはさんで複数の城主による土地の造成が行われたことが想像されます。

壮麗豪華な4階建といわれる信長居館の建築そのものはまだ確認されていません。しかし中世から近世への過渡期のあり方を探る上できわめて重要な遺跡であり、このため今回整備工事を行い、将来にわたって保存されることになりました。



◀ 通路と土塁状遺構

上段部へ屈折しながら続く通路の前面に半島状の土塁状遺構があります。外敵の侵入に対処する構造と思われませんが、現状では傾斜が緩く、本来は高い石垣があったとする見方もあります。



◀ 巨石列

通路の両側や土塁状遺構の側面には板状の巨石を立てて並べています。大きな石を用いる例はこの時期には少なく、この遺跡の特徴の一つです。



◀ 水路と石垣

水路は中段部の奥にあり、兩岸は石垣です。南岸の石垣は上段部の支えとなっている本格的なもので、近世城郭石垣の代名詞ともなった「穴太(あのを)積み」の初期の形を示すといわれています。



◀ 下層遺構群

石積施設・階段状遺構などで、通路建設時に埋められており、織田信長入城以前、斎藤氏時代の遺構かと思われます。

